

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【公開番号】特開2018-196637(P2018-196637A)

【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2017-103049(P2017-103049)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月8日(2019.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定が特別結果であることに基づいて特別の変動パターンを実行可能な特別変動実行手段と、

特定 B G M データに基づく特定演出音を出力する制御を行う特定演出音制御手段と、

操作機会が付与される受付演出を発生可能な受付演出発生手段と

を備え、

前記特定 B G M データに基づく特定演出音は、前記特別の変動パターン内において出力可能とされるものであり、

前記受付演出には、

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて特別の操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無くても遊技者による操作があったときと同じ特別の操作後演出を発生させる特別の受付演出、及び

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて前記特別の操作後演出とは異なる特定の操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無い場合、遊技者による操作があったときと同じ特定の操作後演出を発生させない特定の受付演出

が含まれており、

前記特定 B G M データに基づく特定演出音は、前記特別の変動パターン内の第 1 区間では非抑制態様で可聴出力されるが、前記特別の変動パターン内の前記第 1 区間よりも後の第 2 区間では抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態にされるようになっており、

前記特定の受付演出は、前記特定 B G M データに基づく特定演出音が非抑制態様で可聴出力される前記第 1 区間において発生するものであり、該第 1 区間よりも後の前記第 2 区間では、前記特別の受付演出が必ず発生するようになっており、

さらに、

前記受付演出が発生するよりも前に該受付演出が発生することを示唆する前兆演出が実行可能とされており、前記特別の受付演出が発生する場合と前記特定の受付演出が発生する場合とでは、前記前兆演出として異なる態様が実行可能とされる

ことを特徴とする遊技機。

## 【請求項 2】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定が特別結果であることに基づいて特別の変動パターンを実行可能な特別変動実行手段と、

特定 B G M データに基づく特定演出音を出力する制御を行う特定演出音制御手段と、

操作機会が付与される受付演出を発生可能な受付演出発生手段と

を備え、

前記特定 B G M データに基づく特定演出音は、前記特別の変動パターン内において出力可能とされるものであり、

前記受付演出には、

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて特別の操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無くても遊技者による操作があったときと同じ特別の操作後演出を発生させる特別の受付演出、及び

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて前記特別の操作後演出とは異なる特定の操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無い場合、遊技者による操作があったときと同じ特定の操作後演出を発生させない特定の受付演出

が含まれており、

前記特定 B G M データに基づく特定演出音は、前記特定の変動パターン内の第 1 区間では非抑制態様で可聴出力されるが、前記特定の変動パターン内の前記第 1 区間よりも後の第 2 区間では出力自体が終了されるようになっており、

前記特定の受付演出は、前記特定 B G M データに基づく特定演出音が非抑制態様で可聴出力される前記第 1 区間において発生するものであり、該第 1 区間よりも後の前記第 2 区間では、前記特別の受付演出が必ず発生するようになっており、

さらに、

前記受付演出が発生するよりも前に該受付演出が発生することを示唆する前兆演出が実行可能とされており、前記特別の受付演出が発生する場合と前記特定の受付演出が発生する場合とは、前記前兆演出として異なる態様が実行可能とされる

ことを特徴とする遊技機。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

しかしながら、上記従来の遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段 1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定が特別結果であることに基づいて特別の変動パターンを実行可能な特別変動実行手段と、

特定 B G M データに基づく特定演出音を出力する制御を行う特定演出音制御手段と、

操作機会が付与される受付演出を発生可能な受付演出発生手段と

を備え、

前記特定 B G M データに基づく特定演出音は、前記特別の変動パターン内において出力可能とされるものであり、

前記受付演出には、

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて特別の操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無くても遊技者による操作があったときと同じ特別の操作後演出を発生させる特別の受付演出、及び

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて前記特別の操作後演出とは異なる特定の操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無い場合、遊技者による操作があったときと同じ特定の操作後演出を発生させない特定の受付演出

が含まれており、

前記特定 B G M データに基づく特定演出音は、前記特別の変動パターン内の第 1 区間では非抑制態様で可聴出力されるが、前記特別の変動パターン内の前記第 1 区間よりも後の第 2 区間では抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態にされるようになっており、

前記特定の受付演出は、前記特定 B G M データに基づく特定演出音が非抑制態様で可聴出力される前記第 1 区間において発生するものであり、該第 1 区間よりも後の前記第 2 区間では、前記特別の受付演出が必ず発生するようになっており、

さらに、

前記受付演出が発生するよりも前に該受付演出が発生することを示唆する前兆演出が実行可能とされており、前記特別の受付演出が発生する場合と前記特定の受付演出が発生する場合とでは、前記前兆演出として異なる態様が実行可能とされる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】